

熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY)

2017年7月1日～2025年9月30日までに当院 救命救急科にて、熱中症で治療を受けられた患者さん

研究協力をお願い

当科では「熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY)」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2017年から2025年までの毎年7月1日から9月30日、日本医科大学付属病院救命救急科にて、熱中症で治療を受けられた患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY)

研究期間：研究実施許可日～2026年3月31日

当院における研究責任者：日本医科大学付属病院 救命救急科 部長 横堀 将司

(2) 研究の意義、目的について

日本救急医学会熱中症に関する委員会が研究の主管となって行う熱中症発生の実態調査です。

救急医療施設における熱中症患者の急増を即時に把握し、関係諸機関へ警告することを目的として行うもので、近年は毎年行われております。これにより我が国の熱中症患者の治療、転帰の実態を明らかにできる意義があります。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について)

2017年から2025年までの毎年7月1日から9月30日、日本医科大学付属病院救命救急科にて、熱中症に対して入院し治療を受けられた患者さんの年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見 (身体所見、採血結果など)、発生要因、治療法、転帰に関する情報を匿名化してwebで登録し、全国の医療機関から登録されたデータを集計・解析します。これらの情報は、研究グループが運営管理するデータセンターへ提供されます。これらの情報は、セキュリティ管理されたウェブ上に入力を行い、救急医学会が業者委託したクラウドサーバーを使用します。この際、インターネット上のウェブサイトの事務処理については、情報管理の安全性を保証するために一般財団法人 日本情報経済社会推進協会によってプライバシーマークを付与され、同協会の情報マネジメントシステム推進センターにおける情報マネジメントシステム適合性評価制度にて認証を取得している業者 (バース・ビュー株式会社) を選定しています。

(4) 共同研究機関 (試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者)

研究代表機関： 帝京大学附属病院

研究全体の責任者：帝京大学附属病院 救命救急科 教授 森村尚登

その他の共同研究機関：日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究の承認が得られた救急医療施設。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイドダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 救命救急科 部長 横堀将司

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131 (代表) 内線：24325

メールアドレス：shoji@nms.ac.jp

